

市長記者会見

期 日 令和2年4月10日（金）

時 間 午前10時～

場 所 対策室

発表内容

1 新潟都心のまちづくりについて

(1) (仮称) バスタ新潟の整備について (新潟駅周辺整備事務所)

(2) 都市計画道路 新潟鳥屋野線全面開通について (新潟駅周辺整備事務所)

(3) (仮称) 新潟駅万代広場の整備計画について (新潟駅周辺整備事務所)

(4) 古町地区将来ビジョンの策定について (政策企画部)

※ 「2020 萬代橋チューリップフェスティバル」の開催について (公園水辺課)

(仮称)バスタ新潟の整備について ~整備イメージ~

新潟駅周辺地域では、新潟の玄関口に相応しい広域的な“交通結節機能”の強化と合わせて“防災機能”を備えた基盤の整備を進め、「広域交流ゲートウェイ」の実現を目指します。

中・長距離 バスターミナル

- 中・長距離バスの乗降場を集約し、多様なモビリティと連携した新たな交通結節点を整備
- 子育て支援施設等や中・長距離バス利用者のニーズに対応した施設の整備により快適なバス待ち空間を確保

円滑に通行可能な アクセス道路

- 中・長距離バスと路線バスの運行経路を分離し、円滑に通行可能なアクセス道路を確保

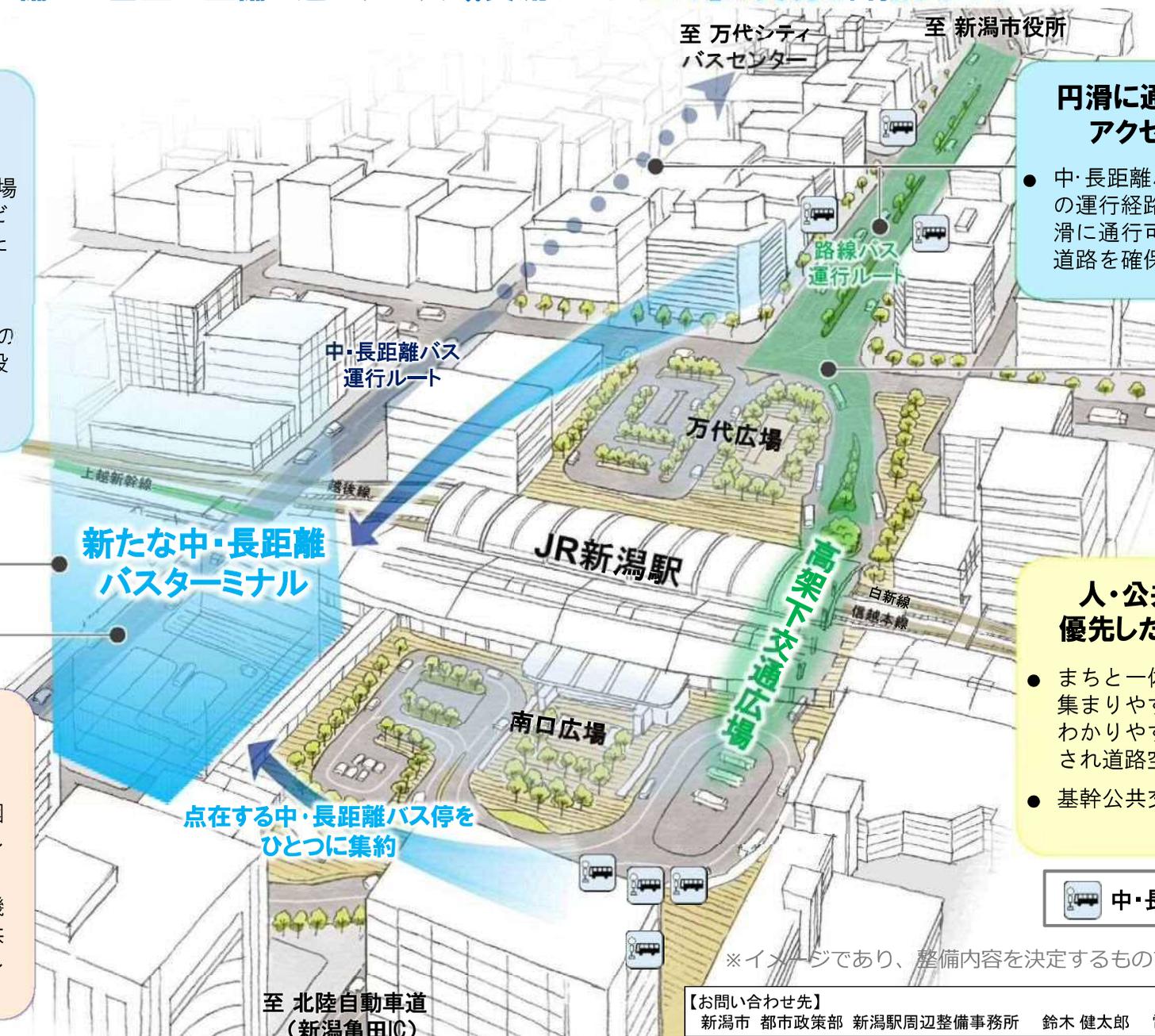
駅周辺の 防災拠点

- 災害時における帰宅困難者の一時避難所としての空間を確保
- 災害情報、公共交通機関の運行情報等を提供する情報発信拠点として機能

人・公共交通を 優先した道路空間

- まちと一体となり、人が集まりやすく観光客にもわかりやすい動線が確保され道路空間を形成
- 基幹公共交通軸の確保

 中・長距離バス停



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

【お問い合わせ先】
新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所 鈴木 健太郎 電話:025-245-1261

新潟鳥屋野線の全面開通について

新潟駅周辺整備事業により、八千代橋と笹出線を結ぶ道路として整備を進めてきた、都市計画道路 新潟鳥屋野線が、3月19日に全ての工事が完了し、4車線で全面開通しました。

南北市街地の一体化による交通の円滑化や、車道、歩道、自転車道の分離により、安全性と利便性が向上しました。

【位置図】



【事業概要】

- ◆ 事業区間
中央区八千代1丁目
～中央区米山
- ◆ 延長
819m
- ◆ 幅員
30m
- ◆ 車線数
4車線
- ◆ 事業期間
2006年度～2019年度

【全面開通後の状況】



【お問合せ先】

新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所

中澤 祐介

電話：025-245-1263

概要

広場内の安全で円滑な交通処理を図るとともに、緑あふれ、人々が憩い、集うことができる居心地が良い空間を確保するため、新潟の陸の玄関口にふさわしい駅前広場として、現在ある万代広場を拡張して新たに整備します。
令和2年度から駅ビル解体工事に着手し、令和5年度の供用を目指して広場の整備工事を進めます。

整備基本コンセプト

人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

※平成13、14年度 提案競技による駅前広場の基本コンセプト

【これまでの広場計画】



基本コンセプトを継承しながら、基本設計で広場計画を見直し

【基本設計における広場計画】



基本設計のポイント

- ・広場の役割と新潟らしさの検討
- ・広場からまちへのつながり
- ・タクシーと自家用車の動線分離

整備イメージ



東大通方向から広場全体



ペDESTリアンデッキから東大通方向

- ◇「新潟市8区の水と緑のつながり」をテーマとして整備。
- ◇ペDESTリアンデッキからの眺めで新潟らしさを演出。
 - ・上屋（シェルター）で信濃川や阿賀野川、点在する潟を表現。
 - ・高木や低木、落葉樹や常緑樹など、様々な樹木で美しい里山を表現。
- ◇雨や雪にぬれず、駅からまちへと歩き出す快適な歩行空間を確保。
- ◇広場内はタクシーと自家用車の専用動線をそれぞれ確保。

今後は、計画案に対して関係者や市民の皆様からご意見を伺い、詳細な設計に反映させていきます。

【お問い合わせ先】

新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所 鈴木 健太郎 電話：025-245-1261

古町地区将来ビジョンの策定について

新潟三越の閉店や古町ルフルのオープンなど、まちの大きな転換期を迎えた古町地区の将来像や方向性を広く市民の皆さまと共有するため、「古町地区将来ビジョン」を策定しました。

記

■策定の経緯

- ・学識経験者や地元商店街の関係者などで構成する「(仮称)古町地区将来ビジョン懇談会」からの意見を反映し、策定

■概要

- ・都市機能や商業機能が特徴的に集積した5つのエリアごとの将来像をイメージパースなどで明示
- ・「古町地区の特徴・強み」や「コンセプト」、「ビジョンの実現に向けた取り組みの方向性」などを記載

※別紙参照

【問い合わせ】

新潟市政策企画部

担当：齋藤

電話：025-226-2152

メール：seisakukikaku@city.niigata.lg.jp

古町地区 将来ビジョン 【概要版】



まちはそれぞれの時代を生きた人々の想いが形となり、それが次の世代に引き継がれ、形づくられてきたものです。まちの長い歴史の中の一瞬を、今を生きる私たちが担い、次の世代へつないでいくものです。また、誰もがその担い手になることができます。自分の身の回りの魅力を高めることが、まちを形づくっていき、それが自分の生活のエネルギーにもつながっていきます。

古町地区将来ビジョン懇談会 座長 西村幸夫



この将来ビジョンは、「新潟都心の都市デザイン」を踏まえ、古町地区がこれから先も魅力的なまちであり続けるため、将来像やその方向性を広く市民の皆さまと共有することを目的に策定しました。今後、この将来ビジョンが広く共有され、古町地区に関わるさまざまな皆さまとともに、まちづくりの取り組みが広がっていくことを目指します。そして、そのまちづくりの動きが新潟の拠点性を更に高め、新潟が持続可能でさらに魅力的なまちになることを目指していきます。

可能性は人

古町に住んでいる人、古町で働いている人、古町で店を営んでいる人、
古町に土地や建物を持っている人、古町が好きの人。
歴史的街並みを残したい、堀を再生させたい、まち歩きでまちの魅力を伝えたい、
何かおもしろいことをしたい、まちを元気にしたい、そんな想いをを持った人。
古町に関わる事業者や団体、行政も。
得意分野を輝かせ、誇れる街の礎を積み重ね、次の150年に繋げます。

発行・問い合わせ先

新潟市 政策企画部

住所 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL 025-226-2152
Mail seisakukikaku@city.niigata.lg.jp



新潟市HPで **古町将来ビジョン** で **検索**

まちづくりのテーマ

つながりを育む歴史まち 古町

～誇れる街の礎を、次の150年に繋げます～

まちづくりの方針

- 1 300年を超える
みなとまち文化の価値を届ける
- 2 魅力が集う、
文化交流舞台のまち
- 3 住んでよし、訪れてよし、働いて良しの
「ちょうど良い」まち

5つのエリアの「強み」 を活かす

特徴的な5つのエリアごとの「強み」を活かした方向性を示します。
各エリアや周辺地域と連携したまちづくりを進めます。



上古町エリア ミックスカルチャーエリア ～古さと新しさのある

白山公園に続く文化門前町～



- ・昔ながらの建築物のリノベーションにより若者等向けの魅力的な個店が集積
- ・白山神社などのまち歩き観光と連携した、まちなかに歩いていきたくなる空間作り

本町エリア ニイガタリアルライフエリア ～地元の味も人情も楽しめる～



- ・生鮮品店舗や市場が集積し、地域住民や来街者の台所・食堂機能
- ・地域住民の日常生活を支える店舗が集まり、飾らない新潟の生活が感じられる

古町花街エリア ポートストーリーエリア ～湊町新潟の歴史と文化が薫るまち～

- ・歴史的、文化的な街並みや古町芸妓などの花街文化が保存、継承されている



- ・昼も夜も楽しめるコンテンツが充実し、まち歩き観光や新潟の食を楽しむ視点的なエリア

古町モールエリア センターステージエリア ～ヒト・モノ・コトの交流舞台～



- ・多様な専門店が集積し、イベントなどで様々なヒト・モノ・コトが交流している
- ・伝統文化やポップカルチャーなど、様々な文化と街が融合し、歩くだけでも楽しい空間作り

榎谷小路エリア 古町ステーションエリア ～新潟の今と歴史が交差する～



- ・古町地区における公共交通の集積エリアとして、来街者の移動や案内をサポートするハブの機能が充実



- ・さらなる新規創業や企業誘致など、中心的な業務集積エリア

将来ビジョンの実現に向けて 明るい未来のためにみんなでどう取り組んでいくか

1 歴史的な建造物・街並みの保存

古町花街エリアをはじめとする地域に多く残る歴史的な建造物や街並みの維持・保存に係る意識啓発、修景や活用の促進などに取り組みます。

2 古町芸妓など、みなとまち文化の継承

古町芸妓や食などのみなとまち文化を気軽に楽しめるコンテンツの充実や情報発信などを通じ、みなとまち文化の次世代への継承に取り組みます。

3 多様な地域資源の磨き直し

さまざまな地域資源を見つめ直し、改めて磨き上げることで、来街者や観光客、ファンを増やし、魅力的なヒト・モノ・コトの交流促進に取り組みます。

4 連携強化・回遊性の向上

都心軸のアクセス性などの機能強化や古町地区内の各エリア間の連携強化や一体感の創出、歩きたくなる・移動しやすい環境の整備などに取り組みます。

5 既存ストックの有効活用

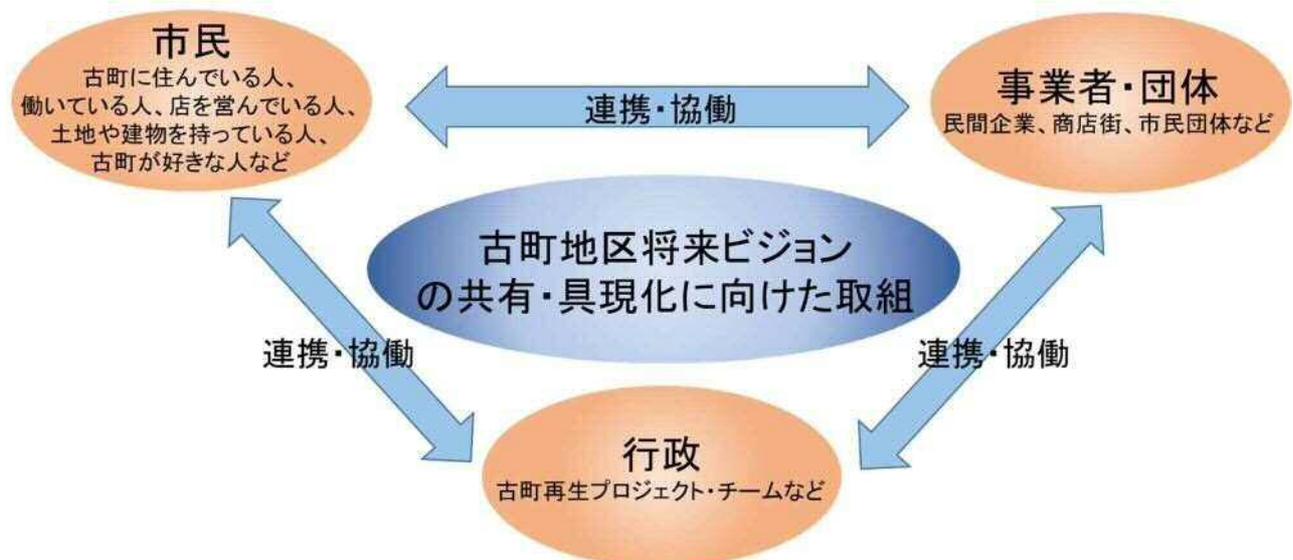
空き店舗などのあっせんやまちの方向性に適した活用、リノベーションや文化・芸術などのコラボレーションによる新たな魅力の創出など、既存ストックの活用促進に取り組みます。

6 情報発信の強化

古町の魅力やみなとまちの歴史・文化などのブランディングに取り組み、新たな交流を生み出すとともに、シビックプライドの醸成などに取り組みます。

7 多様な主体との連携

古町に関わる人をはじめ、広く市民の皆さまとまちの方向性を共有し、多様な主体と連携・協力しながら取り組みます。





萬代橋チューリップフェスティバルと 周辺のみどころ ☆萬代橋周辺☆



☆これまでのフェスティバルの様子☆



○みどころスポット○
やすらぎ堤緑地

チューリップと桜と一緒に楽しめるスポットです！
春満開の新潟の風景を撮って、SNSで発信してみませんか？
※「#新潟グラマー」で発信できます!!



■ チューリップフェスティバル展示箇所
■ 周辺のみどころ

公園の情報をスマートフォンやパソコンで
ご覧いただけます!

市内の主な公園や、その見どころなどを写真とともに紹介しています。

新潟市 公園の紹介

検索

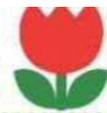


上記QRコードからもアクセスできます

お問い合わせ 新潟市 土木部 公園水辺課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL 025-226-3065 (直通)
E-mail koen@city.niigata.lg.jp

2020年



35th anniversary

萬代橋チューリップフェスティバル

『萬代橋チューリップフェスティバル』とは

新潟市のシンボル萬代橋を、市民の皆さんが育てた、市の花『チューリップ』で彩る、毎年春の恒例行事です。今年は35周年の記念の回となります。

1. 主 催 新潟市
2. 後 援 国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
(公財)新潟観光コンベンション協会
(一社)新潟市造園建設業協会
新潟県園芸商協会
にいがた花絵プロジェクト実行委員会
(公財)新潟市開発公社
萬代橋ファン倶楽部
3. 期 間 令和2年4月16日(木)～4月30日(木)まで
(チューリップの開花状況により期間は延長する場合があります)
4. 場 所 萬代橋周辺(国道7号萬代橋西詰交差点～東港線交差点)の両側歩道
5. 展示内容 新潟市産のチューリップ約25,000本(プランター数:約2,500個)
6. 参 加 者 426団体及び個人
主な参加者: 保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等
7. 注 目 萬代橋東詰では(一社)新潟市造園建設業協会のご好意により、
スポット 新潟県生まれの多彩なチューリップを展示します。



【オープニングセレモニー中止について】

- 令和2年4月16日(木)に実施を予定しておりましたが、オープニングセレモニーは、都合により中止といたします。
- なお、チューリップの展示は予定通り行います。



